



石倉橋下の釣人 Fishing under the Ishikura bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## 本年度の方針

第四十九代会長 安藤 泰雄



飯能ロータリークラブは昭和39年7月22日、東京オリンピック開催の年に創立され、以来48年の輝かしい歴史と伝統をもち、まもなく50周年を迎えようとしています。

このような年度に会長職を務めることは大変の引き締まる思いであると共に精一杯頑張らなくてはと緊張しております。どうぞ皆様宜しく御指導願いたく、お願い申し上げます。

さて、2012～13年度国際ロータリー会長田中作次氏はテーマとして「奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE」を掲げ、どんな些細なことでも人を助けることが平和につながると述べられています。

第2570地区ガバナー鈴木秀憲氏は最重点課題として「奉仕の追求」を位置づけられ、職業奉仕の大切さを語られています。

これらを踏まえて、私は飯能ロータリークラブ第49期の方針を「奉仕出来る喜び 輝こう永遠に」とテーマを定めました。

私は米山梅吉翁が述べられた「ロータリーは人生道場の場である。」という言葉が好きですし、とても含蓄のある事柄であると考えています。自己の職業を通じて社会に奉仕、貢献出来ることは喜びであり、学びであり、成長でありますし、人としての生きざまそのものです。私はもしロータリーに入会していなかったら、どういう歩みをしていたんだろうと時に考えることがあります。

自身の心の在り方、生き方としてロータリーの活動を「穏やかに 和やかに 爽やかに」展開していきたいと思えます。

そして、具体的活動としては次の5点を掲げます。

温故知新 (RCの過去を学び、未来を語ろう)

増強しよう (RCの魅力を広めよう)

例会を充実する (RCを楽しもう)

友情・結束 (50周年にむけて)

50周年記念委員会の活動

皆様一年間、何卒宜しくお願い致します。

# 任期を終了して

第四十九代会長 安藤 泰雄



任期満了にあたり、退任の挨拶をさせていただきます。

光陰矢の如しと申しますが、昨年7月からこの6月までの1年間、会員皆様の温かいご支援ご協力により、無事に有意義に夢の如く日々を過ごすことが出来ました。特にパスト会長さんを始め諸先輩の皆様、吉田(武)エレクト、山川副会長、そして島田幹事、小川SAA、各委員長さん、事務局さんの皆様、大変なご指導ご協力を賜りました。

皆々様に心から厚く感謝申し上げると共に深くお礼申し上げる次第であります。

さて、この1年を私なりに振り返りますと、RI会長田中作次氏はテーマとして「奉仕を通じて平和を」と掲げられました。そして第2570地区ガバナー鈴木秀憲氏は最重点課題として「奉仕の追求」を基本に位置づけられました。

そこで私は飯能RC第49期のテーマとして「奉仕出来る喜び 輝こう 永遠に」を掲げ活動展開していくことをご理解頂きました。また併せて運営姿勢としては「穏やかに 和やかに 爽やかに」とさせて頂きました。皆様にはこれらをよく踏まえて頂く中、例会においてはまず2500回記念例会、ガバナー公式訪問、駿河台大学長 川村正幸氏卓話の移動例会、同副学長 鎗田英三氏の卓話等々、格調ある例会を実施して頂きました。会員増強については委員長さん始め皆様のご努力により3名の新入会員さんをお迎えすることが出来ました。本当に嬉しい拡大となりました。親睦に関しましては夏の納涼バーベキュー大会を始めとして、お月見と琵琶演奏の会、家族の皆様と共に楽しんだクリスマス会、日高RCとの合同夜間例会、またゴルフ大会、そして何よりも大勢のご参加を頂きました京都への旅行。立派な親睦活動を展開して頂きました。飯能RC 50周年に向けて、より友情を深め絆を強めていく親睦活動を重点課題のひとつと考えておりましたので、委員長さん始め皆様にご挨拶を申し上げていい言葉では表現出来ない程の気持ちで一杯です。心からお礼申し上げます。

次に米山奨学生リュウ・ユウヒさん、そして4月からはマイ・ツン・リン君のお世話をすることが出来たり、駿河台留学生の皆様との交流もより深めることが出来たのではないかと感じております。

3.11 東日本大震災に関連しては、ロータリー希望の風基金への賛同支援を実施出来ました。

また各種団体への支援、各種活動への参加、職業奉仕活動、広報広聴活動等々の活動もしっかりと実施することが出来ました。

具体的な活動報告は年度終了後、事業報告として詳細に総括させて頂きたいと思っております。

最後になってしまい恐縮ですが、会員の皆様にはIM、地区大会、そして日高RC 30周年記念式典等、各行事に積極的なご出席を頂きました。「飯能RC、ここにあり」と飯能の勢い、力を大いに示すことが出来たことは大変嬉しく、この友情に対しても厚くお礼申し上げます。

次年度は吉田武明会長年度となりますが、半世紀、50年の大切な節目の年であります。引き続き、益々の発展、隆盛を心からご祈念申し上げて、退任のことばとさせていただきます。

皆様この1年間本当に有難うございました。